

2018年10月12日
(2018年11月27日更新)

2018年度計量生物セミナー

主催：
一般社団法人 日本計量生物学会
AMED 生物統計家育成支援事業 京都大学（代表：佐藤俊哉）・東京大学（代表：松山裕）

1. 日時・場所・テーマ

日時： 2018年12月7日（金）13:00～19:25
2018年12月8日（土）9:15～8日（土）12:20
場所： キャンパスプラザ京都（正式名・京都市大学のまち交流センター）
<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto>
テーマ： 生存時間アウトカムに対する予測モデルの構築と性能評価
定員： 150名
オーガナイザー：横田勲（北海道大学）、大庭幸治（東京大学）、山中竹春（横浜市立大学）、
田栗正隆（横浜市立大学）、菅波秀規（興和）

2. セミナーの内容・プログラム

医学研究において、イベント発生に対する予測モデルの構築は大きなテーマのひとつです。2015年には、予測モデルに関する臨床論文を執筆する上でのガイドラインである、Transparent reporting of a multivariable prediction model for individual prognosis or diagnosis (TRIPOD)声明が公表され、予測モデルの構築・評価の整理が始まりました。将来予測に用いる情報としては、観察開始時データのみならず、追跡中に得られる経時測定データを組み入れたい要求があり、ある時点で *at risk* である条件下での予測を指す動的予測というキーワードの下、2000年代末頃からこの要求に応える研究が盛んです。構築した予測モデルの性能評価について、1996年のFrank Harrell先生のレビュー論文に端を発し、2000年代以降、多くの手法が開発されました。本セミナーでは、経時測定データや、打ち切りを含む生存時間データに対する予測モデルを中心に、その構築方法や性能評価指標に注目します。

2018年12月7日(金) 4階・第2講義室

12:40 開場・受付開始

13:00-13:10 開会挨拶・趣旨説明

I. 生存時間データに対する予測モデルの構築

13:10-14:10 TRIPOD ガイドラインを踏まえた予測モデル構築の概要

坂巻 顕太郎 (東京大学大学院医学系研究科生物統計情報学講座)

大庭 幸治 (東京大学大学院 情報学環)

14:10-15:10 臨床予測モデルにおける変数選択と判別・校正の方法

野間 久史 (統計数理研究所)

II. 経時測定データを用いた動的予測

15:25-16:25 Joint regression modeling of longitudinal and event-time outcomes

Benjamin French (Radiation Effects Research Foundation)

16:25-16:45 Joint modeling の日本語解説

17:00-17:40 ランドマークモデルによる動的予測

横田 勲 (北海道大学大学院 医学統計学)

17:40-18:10 Pseudo-observations による一般化線型モデルの当てはめ

—競合リスクデータへの応用—

田中 司朗 (京都大学大学院 臨床統計学)

III. 予測性能評価指標

18:25-19:25 予測モデル評価指標それぞれの意味づけと指標間の関係

篠崎 智大 (東京大学 大学院医学系研究科 生物統計学分野)

(19:45 より懇親会)

2018年12月8日(土) 4階・第3講義室

III. 予測性能評価指標 (つづき)

9:15-9:30 前日の復習

横田 勲 (北海道大学大学院 医学統計学)

9:30-10:30 生存時間変数に基づく予測モデルの評価に用いる NRI と IDI

井上 永介

(聖マリアンナ医科大学 医学部医学教育文化部門 (医学情報学))

10:40-12:10 Moving beyond association

宇野 一 (Department of Biostatistics and Computational Biology,
Dana-Farber Cancer Institute/Harvard Medical School)

※7日と8日で会場が異なりますので、ご注意ください。

3. 参加費

本セミナーのみに参加する方の参加費用は以下の通りです。

一般・会員：6,000円，非会員：15,000円 ※賛助会員1名のみ会員参加費とする

学生・会員：3,000円，非会員：6,000円

※非会員の方が参加申込受付時に学会へ入会いただく場合は、会員参加として受付をします。入会については日本計量生物学会 (<http://www.biometrics.gr.jp>)をご覧ください。

※日本計量生物学会は、国際計量生物学会 (The International Biometric Society) の日本支部としても活動しています。国際計量生物学会は、各支部から拠出される基金をもとに発展途上国の研究者の援助をしています。本セミナーへの参加費は、この基金への寄付金(一人当たり1,000円)を含みます。参加者各位には、この点をご理解いただいた上で、本セミナーの趣旨に賛同して参加いただいたものとさせていただきます。

4. 懇親会

12月7日(金)のセミナー終了後、講師をまじえた懇親会を開催します(定員50名)。

日時：12月7日(金) 19:45~21:45

場所：PUBLIC HOUSE

<https://www.worldheritage.co.jp/publichouse/>

参加費：5,000円

※セミナー申し込みの際に懇親会参加の有無をお選びください。参加に関して、追ってメールでご連絡します。懇親会参加費用は、当日会場でお支払いください。

※セミナー申し込み後、懇親会参加の予定に変更がある場合は、メール(biometrics2018seminar@gmail.com)でご連絡ください。12月6日(木)正午以降のキャンセルまたは当日不参加の場合は、懇親会参加費をご負担いただきます。

※懇親会に関する領収書が必要な方は、メール(biometrics2018seminar@gmail.com)で12月4日(火)までに必ずご連絡ください。12月5日(水)以降のお申込み・ご連絡では対応できかねる場合があります。

5. 参加申し込み方法・キャンセルポリシー

参加希望者は、Peatix システム(<https://biometricsseminar2018.peatix.com>)にて事前の参加登録・お支払いをお願いします。セミナー・懇親会とも、先着順で受付します。空席がある場合のみ、当日受付を行います。なお、会場の都合上、セミナーの定員は150名とします。定員に達しました場合には、締め切り以前に申し込み受付を終了します。

参加登録は、<https://biometricsseminar2018.peatix.com> より、該当する会員種別のチケットを選択し、必要情報をご入力ください。お支払いは、各種クレジットカード、コンビニ・ATM(ペ

イジー)・Paypal がお使いいただけます。当日は、アプリ上、または印刷したチケットをご持参の上、会場受付にてご提示ください。

領収書については、お支払い方法に応じて形式が異なります。詳しくは、Peatix のヘルプをご覧ください。

セミナー参加のキャンセルは Peatix を介してご連絡をお願いします。12月6日(木)正午以前にご連絡いただいた場合、参加費はお返しますが(ただし、払い戻し手数料は参加者負担)、12月6日(木)正午以降にご連絡頂いた場合、参加費の返金はお受けできかねます。会員種別を誤ってチケットを購入された場合は、チケットのキャンセルを行い、新たに正しい種別でのチケットを購入して頂く必要があります。この場合のキャンセルするチケット分の払い戻し手数料は、参加者負担とさせていただきます。払い戻し手数料については、Peatix のヘルプをご覧ください。なお、キャンセルのご連絡を頂いてから、キャンセル手続きまで最大1週間要しますので、クレジットカードでお支払いされる場合はご注意ください。同じ会員種別である代理の方が参加される場合は、Peatix 上でチケットの譲渡手続きを行ってください。

6. 試験統計家認定更新のための単位認定

試験統計家認定の更新を申請される方は、有効期間内に30単位を取得する必要があります。本セミナーは“5単位”となっており、1/6を満たします。

7. 連絡先

2018年度計量生物セミナー企画委員

biometrics2018seminar@gmail.com